

定住自立圏形成協定合同調印式 上毛町長コメント

本日ここに、各市町議会でご承認いただきました「定住自立圏の形成に関する協定書」の調印式が、4市2町の首長、議長同席のもと無事に執り行われたことは誠に喜ばしいことであり、又この圏域の一体的な発展に重要な転機となり、圏域住民の将来の期待に大きく資するものであることを心より念願するものであります。

厳しい財政運営が迫られている今日の地方自治体は、情勢の変化に対応した多様な住民生活への支援、保障のための諸施策、諸事業を行うにあたり、今まで以上に効率的、効果的な行政運営、制度設計が求められるものと予想されます。

このような実状の中で、定住自立圏構想に基づくこの協定は、一つの市町が個別的に様々なサービスを完結させることには限界があり非効率という認識のもとに、市町村合併や広域連合等の現行制度を補完する有効かつ柔軟な自治体連携という新たな形態で、圏域における定住促進並びに住民生活安定のための取り組みを、市町間の共助により効率的に推進していくものであると考えます。

4市2町は経済、歴史、文化面での深い繋がりを持ち、特に中津市は上毛町にとりましては、経済圏として町民の日常生活の上での依存度は高く、多くの便益や課題が存在しております。

その中でも、医師の確保が喫緊の課題である中津市民病院の小児救急医療等の問題につきましては、地域で医療を支え合うことが最も重要であり、定住環境の向上にも繋がる中心的な施策であると認識しております。

上毛町は、この協定締結を契機に、課題認識の共有化を図り、中心的な役割を担う中津市と共に各市町と協力し、主体性を活かしながら公平・平等の原則に立った運営により、本協定が目標とする成果を着実に上げられるよう鋭意努力して参りたいと存じます。

平成21年11月2日

上毛町長 鶴田忠良